



ザ★ながま

本島のスポーツチャンバラ

大阪市天王寺区役所

本島 茂さん



片手で振り回す豪快なヤマトケル。転んで足を持つのは牛若丸。フェンシングのダルタニアンも……。あらゆる規制をとりはらった自由奔放の剣道、いわは太古の剣道が「スポーツチャンバラ」です。正式名は

自由奔放さに魅せられて師範代

「護身剣道」。テレビや新聞で報道された今、スポーツチャンバラは、トレンドスポーツとして注目を集めています。その普及に努めているのが、大阪市労組の本島茂さんです。区役所で固定資産税の仕事をしながら、子どもたちにスポーツチャンバラを指導しています。スポーツチャンバラは、身の回りがあるカサや靴を利用して身を守るという実用的、実戦的な格闘技とし

て十数年前から始められましたが、「形にとらわれず、思いのままに身を守り相手を打つ」という自由さが、このスポーツの最大の魅力です。その普及に努めているのが、大阪市労組の本島茂さんです。区役所で固定資産税の仕事をしながら、子どもたちにスポーツチャンバラを指導しています。スポーツチャンバラは、身の回りがあるカサや靴を利用して身を守るという実用的、実戦的な格闘技とし

て、全国大会や世界大会まであるんですよ」。服装は何でもOK。専用のマスクと発泡スチロールを巻いた打たれても痛くない太刀を持ては、あなたも立派な剣士です。「でも結構奥が深く、やればやるほどおもしろくなってきます。単に打てばよいというわけではなく、相打ちにならないように逃げるむつかしさ、つまり護身の技をみがく必要があります」

本島さんは、二十二歳の頃、体力作りにと剣道をはじめ、子育てまっさかりの二〇年間はお休みをして、六年前から再開。現在三段のスコ腕です。合わせて、横浜にある「道場」をたずねて、「護身剣道指範代」の免許を得ました。「スポーツチャンバラは、体力のぶつかりあいだけではありませんし、むつかしい型もありませんから、男女を問わず何歳からでも始められます。もっともっと広めたいと思っています。将来、自分の道場を持つのが夢ですね」と若々しく語る本島さん。

五〇歳とはとても思えない、キリッとした顔が印象的でした。